

歴史



岐阜うちわ

岐阜ちょうちん

岐阜和がさ

1400年
むろまち じだい
室町時代

岐阜よりうちわが京都へおくれる。

1500年

あづちもやま じだい
安土桃山時代

1600年

えど じだい
江戸時代

1700年

岐阜の名産として、うちわがあった。

江戸幕府へ提灯をおくるようになったといわれる。

提灯を、尾張藩のおとのさまが買うようになったといわれる。

加納城にきたおとのさまが、傘屋をつれてきたといわれる。

加納城のおとのさまが、武士に和傘作りをすすめる。

岐阜で、江戸の将軍にさしあげる提灯をはっていたという。

加納城のおとのさまが、2つの店だけに和傘をあつかわせる。

1800年

岐阜で漆をぬったうちわが作られる。

江戸でお盆の提灯として、岐阜提灯が流行する。

加納城のおとのさまが、作った傘をかう専用のお札を作る。

めいじ じだい
明治時代

水うちわが作られる。

明治天皇に岐阜提灯をご覧いただく。

型紙を使って岐阜提灯の絵を入れるようになる。

1900年

イギリスで岐阜の提灯職人が実演をおこなう。

げんざい
現在

全国第1・2位の生産高。

岐阜の伝統工芸品を体験!

岐阜提灯・岐阜和傘・岐阜団扇

年 組 名前



昔のくらしでは、いつも使うものでした

わがさ・ちょうちん・うちわのざいりょうは、何でしょう?

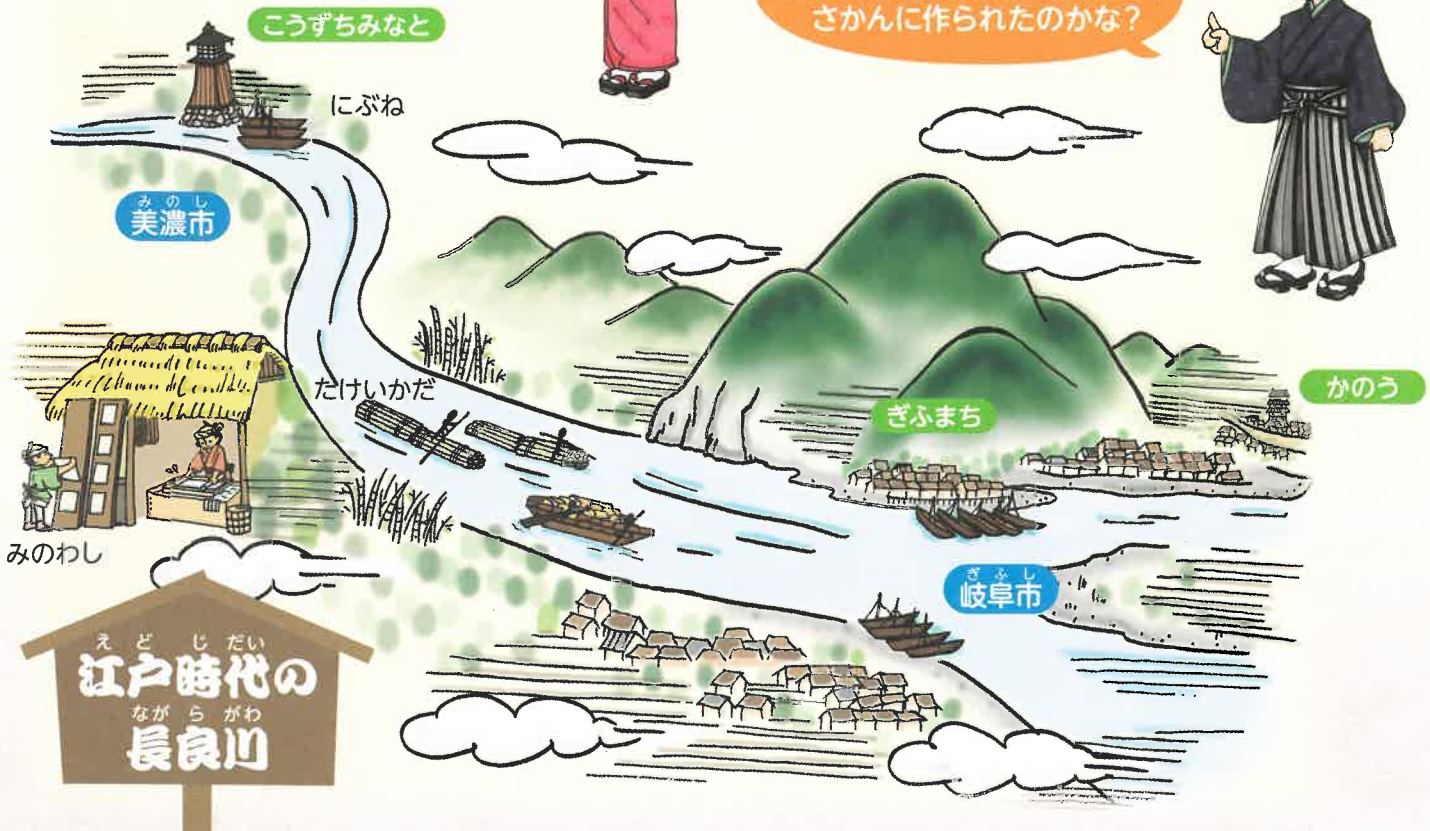
こたえ

今のくらしでは、どのような時に使っていますか?

こたえ



どうして岐阜で、わがさ・ちょうちん・うちわが、さかんに作られたのかな?



岐阜市歴史博物館 伝統工芸品体験キット ワークシート

〒500-8003 岐阜市大宮町2丁目18番地1(岐阜公園内) TEL 058(265)0010